

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	0240050	__ 001
----	---------	--------

【1.基本情報】

事業名	岐阜市統計協会補助金					
担当部名	企画部		担当課名	統計分析課		
実施方法	補助等	補助等の種類	団体育成(運営)補助金	実施主体	岐阜市統計協会	
開始・終了年度	平成	13	年度～	年度	岐阜市補助金等交付規則 岐阜市統計協会補助金交付要綱	
			根拠法令・関連計画			

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	国基幹統計調査において、統計調査員の統計調査に関する知識、意識の醸成を図り、調査を円滑に実施する。					
内容 (手段・手法など)	全国統計大会への参加、統計功労者感謝状贈呈式及び統計業務講習会の開催、新規登録調査員研修会の開催、協会誌の発行、地区運営会議の実施					
事業の 対象	何を	岐阜市統計協会補助金				
	誰に	岐阜市統計協会				
	どのくらい	会議費、研修費、地区運営費、協会誌発行費、事務費、その他市長が認めた経費の合計額の4分の3以内(1年度あたり70万円を限度とし、1,000円未満は切り捨て)				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	統計業務講習会への参加者の拡充					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	65	2	65	2	64	2
パートタイム会計年度任用職員A	31	3	31	3	30	3
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	96	5	96	5	94	5

(2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費【直接事業費】(B)		403	409	457
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	補助金	403	409	457
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		0	0	0
計(D)=B+C		403	409	457

(3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	499	505	551

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)		
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般財源(E-F)	499	505	551

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	岐阜市統計調査員候補者	岐阜市統計調査員候補者	岐阜市統計調査員候補者
受益者数	334	338	341
受益者負担額(千円)	167	169	171
受益者負担率(%)	33.5%	33.5%	31.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1494	1493	1616

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	補助金支出額		単位	千円
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	630	630	630	
実績値	403	409	457	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	研修会・業務講習会の開催		単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	2	2	2	
実績値	1	1	2	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	○(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	統計調査の円滑な実施により得られる統計情報は、各種行政施策の立案・実施、その他の基礎資料となるものであり、重要なものである。 円滑な統計調査実施等を目的に市統計調査員候補者等で組織された団体であり、公共性が高く、調査員の確保、人材育成等に取り組んでいるもので、統計調査の円滑な実施のために市の関与も必要である。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	市統計調査員が担う業務は国・県からの委託事業である。 各地域での調査には地域住民との協力・連携が必要であり、協会との連携は不可欠である。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	国勢調査及び各種基幹統計調査を実施するにあたり、協会との連携を図り実施している。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	統計調査員の統計調査に関する知識の向上、意識の醸成を図るため、統計業務講習会開催、新規登録調査員研修会開催、地区運営会議実施にあたり必要な経費である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	国・県からの委託事業である各種統計調査を行うにあたり、統計調査員の統計調査に関する知識の向上、意識の醸成を図るため、地区運営会議において統計業務に係る知識・待遇・倫理等の研修を実施する。